

共に生きる地域をめざして

ひらすまの取り組み

富山県の方言で
「お昼寝・お昼休み」

平成31年2月26日

特定非営利活動法人ひらすま

代表 佐伯 知華子

立ち上げの経緯

2002年

療養型病院の看護師として働いていた私は、仕方のないことだと思っていた。

- * 認知症や寝たきりになったら、思うように生きることができないこと
- * 若い現役の子や孫のために、余生を我慢して生きること
- * 施設や病院で暮らすこと
- * 施設や病院で死んでいくこと



富山型デイと出会う

富山型デイとの出会い



- 生き生きとした姿や笑顔に感動
- “誰も排除せず、みんなで一緒に生きる”という考えに驚き、大規模施設との違いを強く実感



- 地域から排除されて施設入所したら、幸せになれない。
- それぞれの生き方生き様を続けることが、生きること。



- 富山型デイサービス起業家育成講座受講

日本の福祉はワシらが変わる

ひらすまの理念・目的

「誰もがその人らしく、地域で」

- **2つの共生型（富山型）施設の運営を中心に、地域の様々な人たちのニーズに合わせた柔軟なサービスを提供。通いを中心に泊まりも対応。**

医療依存度の高い人・児
認知症の重い人・多動な児
1人暮らし人・母子家庭
終末期の人 etc.

⇒ **どのような状態の方でも、とことん地域生活を支援する。**

居宅介護事業所及び相談支援事業所を中心に、赤ちゃん～高齢者までのよろず相談

- **地域づくり**

座談会を毎月開催（地域民生委員、市役所、包括支援センター相談支援事業所利用者家族らが参加）

ひらすま新聞（広報）隔月発行し、2つの自治会で回覧、利用者や会員に配布
感謝祭、餅つきなどのイベント 毎年5月開催 **バザーや歌や踊りなどのイベント** 地域住民や利用者、利用者家族が参加

成美小学校の学びの場として 総合学習の実習場所、学校に出向いて授業

子ども110番の家
挨拶と送迎時の見守り

ひらすまの特徴

- **近くて** 地域住民が暮らす住宅地の中にある。近くには神社、お寺、公園、お店などがあり、生活に密着した環境。
- **小さくて** 一日10名～15名の利用者。利用者、スタッフ共に馴染みの関係になり、お互いを理解しやすい単位。
- **なごめて** 外観も内装も普通の民家。自宅でくつろぐように過ごせる。
- **誰でも利用できる** 赤ちゃんからお年寄りまで誰でも利用できる。年齢も障害もバラバラゆえに、個性が生き、自然と助け合いが生まれる。

近くて 小さくて



ひらすま周辺

近くて 小さくて



二つ目の施設 あらいべ周辺

なごめて 誰でも利用できる





なごめて 誰でも利用できる

なごめて 誰でも利用できる



富山型デイサービスの効果・効用

高齢者にとって

- 子どもと触れ合うことで、自分の役割見つけ、意欲が高まることによる日常生活の改善や会話の促進効果

児童にとって

- お年寄りや障がい者など他人への思いやりや優しさを身につける教育面の効果

障がい者にとって

- 居場所ができることで、自分なりの役割を見出し、それが自立へとつながっていく効果

地域にとって

- 地域住民が持ちかけてくる様々な相談に応じる、地域住民の福祉拠点としての効果



高齢者にとって

高齢者にとって





高齢者にとって

高齢者にとって



高齢者にとって



高齢者にとって



障がい児にとって



子どもたちにとって





子どもたちにとって



子もたちのじゅんぐ





子もまたちゅうじゅん







障がい児にとって



障がい児にとって



障がい児のユック



障がい者にとって



子どもたちにとって



地域にとって





地域にとって



地域にとって

地域にとって

近所の公園で





地域にとって
近所の小学生と

町内会費を払い、町内の会合や行事に参加





トップが現場で働き続ける
利用者、スタッフを理解するために



トップが現場で働き続ける
利用者、スタッフを理解するために



日課がない。行事には力を入れない
非日常より日常の介護に力を注ぐ











外出は行きたいときに、行きたい人だけ





外出は行きたいときに、行きたい人だけ

近所の公園に行きたければ毎日何度でも



食事を大切に
栄養ではなく楽しみ



入浴を丁寧
清潔ではなくリラックス



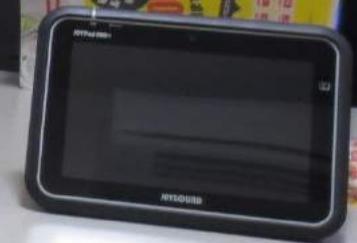


誰が利用者か職員かわからない
制服なく、食事も共に、職員室なし



徹底した個別ケア
ひとりひとりに合わせる

徹底した個別ケア
ひとりひとりに合わせる





徹底した個別ケア
ひとりひとりに合わせる



人生にとことん付き合う
周辺症状に寄り添うこと。看取りまで。

たまちゃんのお話





たまちゃんのおじいちゃん





ひらすまの皆さんへ
ひらすまではひらすま新聞やざしを見たり
いちごサンデーで遊んだりしました。
おじいちゃんと一緒にすごしたことも楽
しかったです。4月からは仕事をがんば
ります。長い間お世話になりました。
ありがとうございました。

  珠子より

長い間、珠子を可愛がって下さり、ありがとうございました。

先生の経験やいろいろなことへの思いが、珠子の成長の糧になると感じています。

大変お世話になりました。ありがとうございました。



珠子

おばあちゃんとたくちゃんのお話



たくちゃん、かたいぞ





もみもみ

2013/6/13

いっしょにおばあちゃんのかんたんのかんたんあ
ごをふりながら、ひらすま...



2016/4/11

穏やかな看取り

記念写真には近所の小学生も



ひらすま 10周年

2014年4月1日

ひらすまは介護するところと言うよりは

- その人の生き方を支える
- その人の生き様を見守る
- その人の幸せを探る
- 自分も支えてもらう
- 自分も幸せになる
- その人の傍で、一緒に笑って泣いて悩んで、一緒に生きる

ご清聴 ありがとうございます

終